

2013／第97回 日本選手権 Statistics Information

20130609=No. 48

<男子／200m>

・飯塚翔太（中大）は、初優勝。

・飯塚の20秒31（+0.9）は、2位・小林雄一（NTN）の20秒46、3位・高瀬慧（富士通）&藤光謙司（ゼンリン）の20秒48、5位・高平慎士（富士通）の20秒52とともに世界選手権A標準（20.52）突破。

・この種目で中大の選手が勝ったのは、1955年（原義明）以来58年ぶり。

・3位～6位が日本選手権での各順位別の最高記録だった。

・飯塚の日本選手権でのこれまでの成績

2011	6.11	熊谷	男200m	4	20.64	0.0	(中大)
2011	6.10	熊谷	男200m	2H3	20.87	0.4	(中大)
2012	6.09	長居	男100m	4	10.36	0.0	(中大)
2012	6.08	長居	男100m	1H1	10.35	0.5	(中大)
2012	6.10	長居	男200m	2	20.45	0.0	(中大)
2012	6.09	長居	男200m	2H2	20.80	0.9	(中大)

・小林の日本選手権でのこれまでの成績

2009	6.26	広島広域	男200m	6	20.79	1.3	(法大)
2009	6.25	広島広域	男200m	3H2	20.92	1.4	(法大)
2010	6.04	丸亀	男200m	H2	DNS	0.6	(法大)
2011	6.11	熊谷	男200m	3	20.62	0.0	(法大)
2011	6.10	熊谷	男200m	1H2	20.59	1.2	(法大)
2012	6.09	長居	男200m	3H3	20.91	0.0	(NTN)

・高瀬の日本選手権でのこれまでの成績

2010	6.06	丸亀	男400m	5	46.46		(順大)
2010	6.05	丸亀	男400m	2H1	46.87		(順大)
2011	6.11	熊谷	男200m	5	20.76	0.0	(富士通)
2011	6.10	熊谷	男200m	1H3	20.76	0.4	(富士通)
2011	6.11	熊谷	男400m	H1	DNS		(富士通)
2012	6.10	長居	男200m	1	20.42	0.0	(富士通)
2012	6.09	長居	男200m	1H3	20.67	0.0	(富士通)

・藤光の日本選手権でのこれまでの成績

2007	6.30	長居	男200m	6	20.73	1.2	(日大)
2007	6.29	長居	男200m	2H1	20.78	0.4	(日大)
2008	6.27	等々力	男200m	8	37.31	-1.2	(日大)
2008	6.26	等々力	男200m	2H2	20.64	2.3	(日大)
2008	6.28	等々力	男400m	H2	DNS		(日大)
2009	6.26	広島広域	男200m	3	20.55	1.3	(セーレン)
2009	6.25	広島広域	男200m	2H2	20.88	1.4	(セーレン)
2009	6.27	広島広域	男400m	H4	DNS		(セーレン)
2010	6.05	丸亀	男100m	H3	DNS	0.6	(セーレン)
2010	6.05	丸亀	男200m	1	20.38	1.2	(セーレン)
2010	6.04	丸亀	男200m	1H1	20.74	0.3	(セーレン)
2011	6.11	熊谷	男100m	H2	DNS	0.0	(セーレン)
2011	6.11	熊谷	男200m	8	21.05	0.0	(セーレン)
2011	6.10	熊谷	男200m	3H1	20.89	0.8	(セーレン)
2012	6.10	長居	男200m	5	20.75	0.0	(ゼンリン)
2012	6.09	長居	男200m	2H1	20.63	0.0	(ゼンリン)

・2位・小林の母・澄子さん（旧姓・貝原=かいほら）は100mと200mで1度ずつ優勝し、

1979	女100m	1	11.94	0.0	(日大)
1979	女200m	1	24.55	0.0	(日大)
1980	女100m	6	12.33	-1.1	(日大)
1980	女200m	3	24.64	0.4	(日大)
1982	女200m	4	25.04	1.1	(横浜陸協)
1983	女200m	5	24.97	-0.3	(アシックス)

父・秀一さんは、1972年の全国インターハイ400m優勝者で日本選手権でも2回入賞している。

1973	男400m	4	48.4		(東洋大)
1974	男400m	6	48.4		(東洋大)